

伊勢・三河湾貧酸素情報（R6-7号）

令和6年8月7日
愛知県水産試験場 漁場環境研究部

令和6年8月1、5、6日に伊勢・三河湾において貧酸素水塊の調査を実施しました。その結果は以下のとおりです。

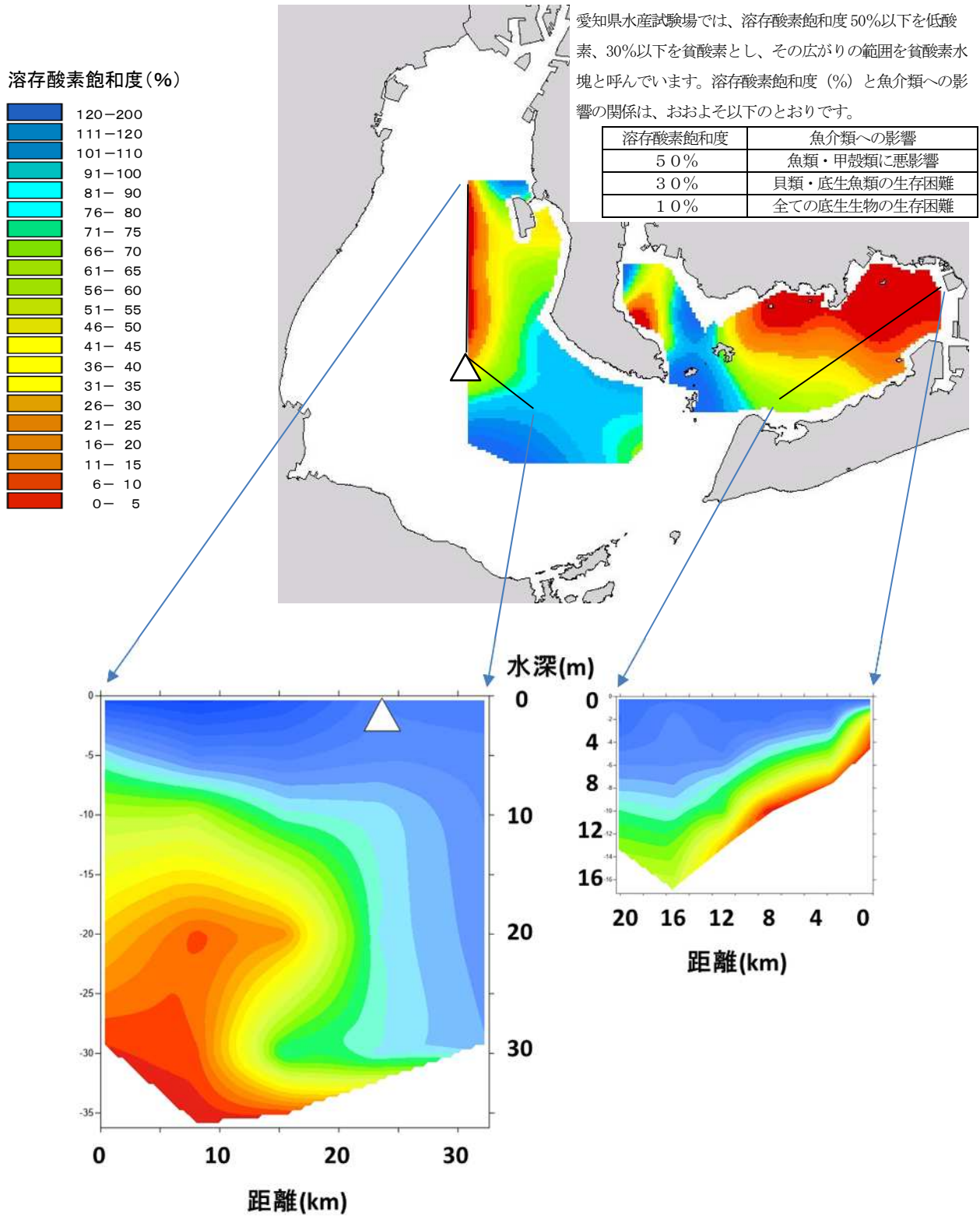


図1 伊勢湾（8月1日）、三河湾（8月5、6日）底層の溶存酸素飽和度の分布（上図）及び上図直線部分の鉛直分布（下図）（愛知県「へいわ」調査）

伊勢湾

8月1日の調査結果を図1に示しました。伊勢湾湾央部の北側に、溶存酸素飽和度30%以下の貧酸素水塊が確認されました。前回調査と比べると表層水温が低下しており、7月末の強風で、ある程度の海水の上下混合が起きたと考えられます。また、水深30m付近で外海水の侵入があったと考えられます。今後しばらくは気温の高い日が続く予報であることから、貧酸素水塊は再び発達すると考えられます。

表1 調査時の水温・塩分

	水温(°C)	塩分
表層	24.5 ~ 27.5	29.4 ~ 32.9
底層	18.4 ~ 24.2	31.2 ~ 34.3

三河湾

8月5、6日の調査結果を図1に示しました。知多湾の一部及び渥美湾の広い範囲で貧酸素水塊が確認されました。7月25日調査と比べると溶存酸素飽和度30%以下の範囲は縮小しており、7月末の強風で、ある程度の海水の上下混合が起きたと考えられます。今後しばらくは気温の高い日が続く予報であることから、貧酸素水塊は再び発達すると考えられます。

表2 調査時の水温・塩分

	水温(°C)	塩分
表層	29.4 ~ 32.1	24.4 ~ 30.6
底層	22.6 ~ 29.5	31.2 ~ 33.7

参 考

前回調査時の三河湾底層の溶存酸素状況

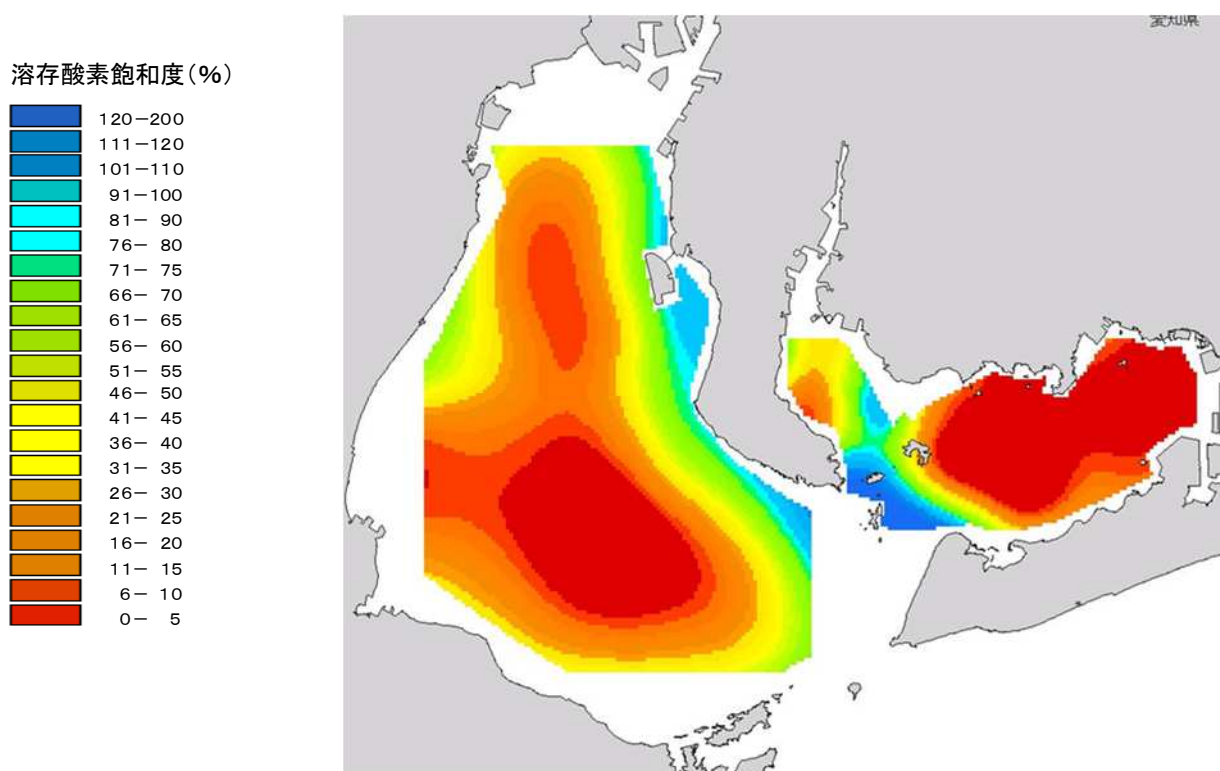


図2 令和6年7月22、23日(伊勢湾)、7月25日(三河湾)